

佐賀大学工学部建築環境デザインコースでは、2020年からARITA scenario plus（アリタ・シナリオ・プラス）というプロジェクトを立ち上げ、空洞化した公民の敷地を対象に、具体的な利活用のための要件整理、要件に基づいた建築提案に取り組んできました。本シンポジウムでは、2020年度からの3年間の取り組みを整理する意味合いも含めて、多くの自治体で空洞化した土地や建物の利活用の企画化・プロジェクト化に関わられてきた大月敏雄氏をお迎えし、有田内山地区における「まちの新しい拠点と地域にひらくデザイン」を切り口に、有田の次のシナリオを議論する場になることを考えています。

2023.03.17（金）16:30 - 18:30

佐賀大学有田キャンパス 1号館 2F 有田プロジェクトルーム

基調講演

大月敏雄氏 / 東京大学大学院教授

『暮らしから考える
住まいと町のデザイン』

大月敏雄 | 1967年福岡県八女市生まれ。東京大学大学院工学系研究科建築学専攻教授。東京大学工学部建築学科卒業、同大学大学院博士課程単位取得退学。博士(工学)。横浜国立大学工学部建設学科助手、東京理科大学工学部建築学科准教授を経て現職。専門は、建築計画、住宅地計画、ハウジング、住宅政策。著書に『町を住みこなす』（岩波新書）など。



クロストーク

大月敏雄氏

×

松尾佳昭氏

(有田町長)

×

清水耕一郎氏

(アルセッド建築研究所)

スケジュール

16:30~16:35 | 挨拶

16:35~17:35 | 基調講演

17:40~18:25 | クロストーク

18:25~18:30 | おわりに

主催：(一社)日本建築学会九州支部佐賀支所（佐賀の木・家・まちづくり協議会事業）

共催：佐賀大学大学院理工学研究科 建築環境デザインコース

後援：有田町

ARITA scenario plus

佐賀大学大学院理工学研究科理工学専攻建築環境デザインコース
2022_地域デザイン特別演習+建築都市デザイン特別演習合同課題

STAND for ARITA

— 有田陶器市のための屋台提案 —

会場 **ギャラリー手塚**

(佐賀県西松浦郡有田町大樽1丁目2-2)

入場料 **無料** (お気軽にお越しください)

連絡先 22732006@edu.cc.saga-u.ac.jp (大竹)

主催 佐賀大学大学院建築環境デザインコース一年

※3月17日の午後、屋台は**有田キャンパス**に移動いたします。また、**公開講評会**もご覧いただけますのでぜひお越しください。

2023.03.16 (木)

▶ 03.19 (日)

時間 11:30-17:00

最終日 15:30 まで

本展覧会では、佐賀大学大学院の設計演習で取り組んだ、「有田陶器市のための屋台」を展示します。どの提案も、有田陶器市の未来を見据えた提案となっています。展示会場では、実寸の屋台やカタログの展示を行います。実際に、有田町の皆様にもご覧いただき、ご意見、ご感想を頂ける良い機会と思っております。皆様のご来場、心よりお待ちしております。

磁器アクセサリのための屋台
『猫車班』

磁器アクセサリのための屋台
『屏風型班』

陶磁器のための屋台
『花びら型班』

陶磁器のための屋台
『エレベーター型班』

陶磁器のための屋台
『倉庫型班』

ミニレクチャー **2023.03.17 (金) 14:00-16:00**

永田賢一郎氏 / YONG architecture studio 主宰

永田賢一郎 | 東京出身。横浜国立大学大学院Y-GSA修了。シェアスタジオ〈旧劇場〉や設計事務所兼シェアキッチン〈藤棚デパートメント〉、〈野毛山Kiez〉など地域のストックを活用した拠点づくりを展開。2020年より長野県北佐久郡立科町地域おこし協力隊兼任、横浜と長野の2拠点で活動中。



※このプロジェクトは、佐賀大学地域みらい創生プロジェクトの一環として実施しています。